

2017年度第1回執行理事会議事録

期日：2017年6月24日（土） 13:00～17:00

場所：地質学会事務局

出席者：渡部会長 松田副会長 齋藤常務理事 安藤 緒方 岡田 坂口 田村 辻森 中澤 杉田 内藤 西 平田（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：山本副会長 小宮 廣木（渡部） 山田

*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者14名、委任状4名、合計18名の出席。

*前回議事録の承認

I 審議事項

1. ジオルジュの出版のあり方について
・編集委員会による印刷費削減対策と出版方針について検討し、以下に確認事項を記す。
・2017年後期号については従来どおりの作成方針。
・フリーペーパー化について多く議論がなされたが、協賛記事（有料）や広告で収入増が期待できるか等については継続審議
2. 地学オリンピック日本委員会の依頼
・来年度の作問者の推薦依頼があり、1名を推薦した。
3. 選挙管理委員の選出：3・4回会議、9月10日告示。
・第1回管理委員会 7月に開催予定、11月、1月中旬、2月開票
・選挙管理委員会委員候補として次の方々を選出し、ご本人に確認することとした。
上田正人（中央開発）、柿崎喜宏（明大）、上栗伸一（茨城大教育）、佐藤智之（GSJ）、佐藤峰南（JAMSTEC）
4. その他
・新たな出版物の企画について提案があったので、継続審議とした。

II 報告事項

1. 全体的報告
1) 一家に1枚ポスターは、自然災害と県の石の2件を応募した。
2) 中部支部（大藤支部長）と応用地質学会中部支部（吉田英一支部長）との間で、CPD関連事業の後援、共催について、協力体制の連携を図るため、覚書を交わすことになったとのこと（支部総会で承認）。それについて、理事会等の承認が必要かどうかの問い合わせがあったが、支部の方で進めていただくことで問題ないとの返答をした。正式に覚書を交わしたのちに改めて支部から報告がある予定。
3) 西日本支部「第3回西日本地質研修会」（5/17-18、山口大学地球圏システム科学科との共催）の実施報告があり、講習会

55名、巡検28名、企業説明会3社の参加者があった。収支は39万余円の黒字となり、余剰金は一旦学会に入金したうえで、共催の山口大学へは折半して奨学寄付金とする。

- 4) 名誉会員、50年会員、各賞受賞者等への通知・案内状を送付した。
- 5) 地惑連合第2回理事会に会長（学協長会議幹事）が出席予定、第16回学協会長会議議事録
2. 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）
<共催・後援依頼、他団体の募集等>
 - 1) 国立科学博物館主催「海底火山研究国際シンポジウム」（9/20、国際賞Dr.Fiske来日の機会に）の共催を承諾した。
 - 2) ふじのくに地球環境史ミュージアム企画展「掛川層群の化石」（8/17-10/1）の後援を承諾
 - 3) 神奈川県立生命の星地球博物館特別展「地球をはぎ取る～地層が伝える大地の記録」（7/15-11/5）の後援依頼を承諾
 - 4) 新潟大学学術情報基盤機構旭学術資料展示館より企画展示「放散虫とかたち」（7/12-8/31）の後援依頼を承諾
 - 5) 文部科学大臣表彰科学技術賞、若手科学者賞推薦依頼特に女性、海外を拠点に研究活動を行っているもの（締め切7/26、学会締め切7/14）詳細は文科のHP参照→ News誌、HP、geo-flashに掲載
 - 6) 東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の公募（10/10メ切、学会メ切8/31）→HP、geo-flash、News誌に掲載
 - 7) 女性科学者に明るい未来をの会より2017年度「第38回猿橋賞」受賞候補者の推薦依頼（11/30メ切）→ News誌、HP、geo-flashに掲載
 - 8) 高校生技術チャレンジJSEC2015の実施報告：国内ファイナリスト6件10名を国際大会に派遣国際大会の結果：グラントワード 2等2件、アメリカ音響学会賞1件
 - 9) ジオ神奈川：観察会「城ヶ島と三崎の地盤隆起—1923年大正関東地震の地殻変動」（5/13、後援）の実施報告、参加者20名
 - 10) 三浦半島活断層調査会：城ヶ島観察会（5/22、後援）の実施報告、参加者23名+スタッフ14名。
 - 11) 第54回アイソトープ・放射線研究発表会（共催）のプログラムが届いた。
 - 12) 第20回水環境学会開催のお知らせ（9/26-28、和歌山大学）
 - 13) 日本自然史学会役員交代挨拶（会長寶 馨氏：京大）
 - 14) 地盤工学会役員交代の挨拶状（会長村上章氏任期中）
 - 15) 糸魚川市長米田徹氏（4期目再選）からの挨拶状
 - 16) 公益法人協会より「休眠預金活用に関するアンケート調査」協力依頼に回答する。

<会員>

1. 今月の入会者（38名）
正会員（10名）：有吉慶介、鈴木秀雄、清水隆一、柳田 誠、牛見龍也、近藤健太郎、竹田幹郎、山田晃裕、杉田匠平、藤巻三樹雄
院割（25名）：深津裕貴、高橋一輝、佐沢豪、山田来樹、小林未季、横田麻莉、貞本和志、藤瀬武尊、金子大作、芥川祐樹、梅田侑子、四宮裕太、有田直矢、増井 充、織田雅俊、小坂由紀子、鬼丸舜平、滝 俊文、仲田光輝、元村健人、坂井志緒乃、花本夏輝、渡邊 駿、堤 康祐、小野藍生
学部割（3名）：河西夏美、内藤美桜、赤木建斗
 2. 今月の退会者（正会員 6名）
田中伸明、大出晃弘、久保田充、大塚雅勇、小林仁弥、大塚 遼
 3. 今月の逝去者（名誉会員 2名、正会員 2名）
名誉会員：相原安津夫（4月30日）藤井昭二（6月5日）
正会員：吉村典久（6月6日）大矢規夫（6月8日）
 4. 2017年4月末日会員数
賛助：27、名誉：58、正会員：3580（正会員：3446、正（院割）会員：129、正（学部割）会員：5）合計 3655（昨年比 -37）
- <会計>
- ・日本地学オリンピック委員会より、平成28年度活動報告と今年度の協賛金について依頼があり、協賛金は予算通り30万円とした。来年度については、減額も含めて再検討する。
 3. 広報部会：広報委員会（坂口・小宮・内藤）
・英語版Websiteの充実については、優先度の高いものから作成作業を進めていく。
 4. 学術研究部会（岡田・山田）
 - (1) 行事委員会（岡田）
・2017年 愛媛大会の宿泊先について近日中にgeo-Flashで案内する。
・2018年 北海道（札幌）大会の開催準備状況について
・2019年 西日本支部、2020年中部支部の大会については、オリンピック絡みの影響が出るので日程及び会場の選定は早めに準備体制をとる。
 - (2) 国際交流委員会（井龍）
・10/23-24 大韓地質学会70周年大会（済州市）への代表参加（検討中）
 - (3) JIS、標準担当（中澤）
 5. 編集出版部会（中澤・田村・小宮）
 - (1) 地質学雑誌編集委員会（山路編集委員長、中澤担当）
 - 1) 編集状況報告（6月10日現在）。
・2017年投稿論文 47編〔総説16（和文16）・論説12（和文12）・報告8（和文7、英文1）・ノート1（和文1）・講座1（和文1）・口絵2（和文1、英文1）、巡検案内7〕査読中：40、受理済み：26（うち特集号10）
・123巻6月号：125周年記念特集号「構造地

質学の最近25年の成果と今後の展開 (その1) + 通常原稿2編 89ページ (6/22校了)

- ・123巻7月号: 愛媛大会巡検案内書4コース分 + 通常原稿2編 (予定)
- ・123巻8月号: 愛媛大会巡検案内書 (予定)
- ・123巻9月号: 変成岩特集 (予定)
- ・123巻10月以降: 津波特集 (予定)

(2) アイランドアーク編集委員会 (田村)

- 1) IFの低下 1.3→0.837 今後上昇に向けて対策をとっていく.
- 2) 編集状況
 - ・Vol.26 Issue2 (2017年3月): 一般原稿6編
 - ・Vol.26 Issue3 (2017年5月): 井龍特集号5編 (完結), 一般原稿3編
 - ・Vol.26 Issue4 (2017年7月): 特集号5編, 一般原稿4編
- 3) オンライン投稿の状況
 - ・過去半年 (2017. 1.1 ~ 2017.6.2) の投稿数 30件. うち新規投稿24件
- 4) その他
 - ・5/21例年同様, 連合大会にて編集委員会を開催.
 - ・清川昌一氏より特集号の企画提案. Title: Precambrian world: Earth through time, 構成論文数:17編

(3) 企画出版委員会 (小宮)

- ・査読後の返却以来1年以上を経過した伊豆大島・三原山探検マップの再投稿があり, リーフレット企画出版委員会の高清水委員長に回送. 委員会で担当を決め査読に入った.
- ・ゆめ基金による教材開発の進捗状況について
来年1月の完成を目指して, コンテンツの資料収集を行っている. スケジュール的にはかなりタイトな様子とのコメントあり.

6. 社会貢献部会 (平田・杉田・廣木・辻森)

- ・2017年度のジオ散歩について. 28名の参加. 問題なく実施でき, 参加者からも好評であった.
- ・2018年度のジオ散歩について: 準備中

7. ジオパーク支援委員会 (平田)

- ・地震火山こどもサマースクール
今年度は, 熊本県益城町で開催 (募集は, 地元のみ. ゆめ基金への応募なし). 来年度は, 伊豆大島で開催予定 (内定段階)
- ・第30回日本ジオパーク委員会開催 (5月21日, 幕張).
今年度の申請については, 次の通り決定した. ユネスコ世界ジオパーク推薦申請を行った立山黒部ジオパークについては, 現地審査を見送り推薦しない. 日本ジオパーク認定申請を行った4地域の内, 「国引き」と「十勝岳」の2地域は夏季に現地審査を行う. 「土佐清水」と「那須烏山」の2地域は現地審査を見送り認定しない. 再認定審査地域は, ユネスコ世界ジオパークでは「山陰海岸」と「阿蘇」の2地域, 日本ジオパークでは, 「茨城県北」, 「佐渡」, 「四国西

予」, 「三陸」, 「おおいた姫島」, 「おおいた豊後大野」, 「三笠」, 「桜島・錦江湾」, 「とかち鹿追」と「下仁田」(前回条件付き再認定) の10地域で, 秋季に現地審査を行う.

- ・ジオパーク内での地質調査に関することについて
9月の愛媛大会にて, 現地地質調査活動への理解を促進するために, JGNとの連携について検討(ランチョン)を行う. 10月JGNの大会でも会議を行う.

8. 地学オリンピック支援委員会 (平田)

- ・5月19日に本委員会で取りまとめた第9回日本地学オリンピック予選の問題講評を地学オリンピック日本委員会に提出.
- ・5月26日~28日に埼玉県秩父地方にて第11回国際地学オリンピックフランス大会の日本代表合宿研修を実施.
- ・8月7~9日に筑波大学にて日本代表合宿研修を実施予定.

9. 地質災害委員会 (松田達生)

- ・平成29年度総会議事録案 (斎藤常務出席)
- ・防災推進国民大会2017の開催: 11/26-27仙台市国際センター, 防災学術連携体シンポジウム「衛星情報・地理情報とイノベーション」: 学術会議との共催, 連携セッション・ポスターセッション募集締め切り6/30

10. 地質技術者教育委員会 (山本)

- ・5/26にJABEEの総会 (建築会館ホール) に出席. 認定プログラムは2011-2016年で501になる. 加盟国が増えている中で, 日本のみが再認定辞退が増えている. 受審時の作業負担軽減を求める声大きい. 最初の認定時教官の退官や対応する若手教官の不足等が原因とみられる.

11. 125周年記念事業実行委員会 (緒方, 渡部)

- ・会員カード作成のため, 会員にローマ字表記確認の広報中 (geo-flash, News誌, 個別通知)
- ・特別講演, 記念表彰, フォトコン写真のクリヤーファイル配布・販売等を検討中.
- ・次回7/7に委員会を開催予定

12. 県の石支援委員会 (辻森)

- ・県の石出版の進捗状況について報告があり, とくに写真について, 難しい状況であるとのこと.

2017年7月29日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 渡部芳夫
署名人 執行理事 斎藤 眞

2017年度第2回執行理事会議事録

期日: 2017年7月29日 (土) 13:00~17:00

場所: 地質学会事務局

出席者: 渡部会長 松田副会長 (16時退出)
山本副会長 斎藤常務理事 安藤 緒方
岡田 坂口 田村 辻森 中澤 杉田
内藤 西 (事務局) 橋辺

欠席者 (委任状提出あり): 小宮 平田 廣木 (渡部); (委任状なし) 山田
* 定足数 (12, 委任状含む) に対し, 出席者 14名, 委任状 3名, 合計17名の出席.
* 前回議事録の承認

I 審議事項

1. 地質学雑誌の投稿編集出版規則改正について (中澤)
 - ・著者多数文献の文献欄での略し方: 「著者が11名以上・・・」を現規則 (H4-2) に追加する件について, 編集委員会案を詳細を検討した. 次回の執行理事会で修正案を提案する.
2. ジオルジュの出版のあり方について (継続審議, 坂口)
 - ・フリーペーパーとして配布する際の取次先確保として, 平田理事にジュンク堂書店池袋本店を紹介してもらった. 交渉の結果, 同店で11月のブックフェア・イベントに地質系推薦書籍コーナーを設けるので, フリーペーパーとして最新号とバックナンバーを置かせてもらうこととなった. また, スポンサー確保のため, 数社に打診中である.
 - ・来年度以降の出版方針について, 11月頃まで (2018年5月出版作業開始期) に検討することを確認した.
3. geo-Flashの取り扱いについて (斎藤)
 - ・掲載のルールについて, 広報担当からあらためて提案する.
4. 9月理事会の議案
 - ・地質学雑誌の投稿編集出版規則改正について
 - ・ジオルジュの出版について
 - ・geo-Flashへの記事の掲載方針について
5. その他

II 報告事項

1. 全体的報告
 - 1) 一家に1枚ポスターは, 県の石が一次審査を通過し, 二次審査用書類を提出した. 一般の意見募集を経て上位4位に選出されればヒアリングの後, 決定の可否となる. 意見募集 (投票) は7月27日~8月13日まで各地の科学館・博物館等で実施されるので, Geo-flash等で会員にも知らせる.
 - 2) 選挙管理委員は, 前回の執行理事会で推薦された次の5名の方々に決定した. 上田正人 (中央開発), 柿崎喜宏 (明大), 上栗伸一 (茨城大教育), 佐藤智之 (GSJ), 佐藤峰南 (JAMSTEC)
 - ・第1回の選挙管理委員会を7/25に開催し, 委員長には佐藤智之氏を選出した.
 - ・選挙の告示をNews誌9月号に掲載するための準備を行った. Geo-flashへ掲載
 - 3) 「地質の日」の記念日登録に関し, 記念日協会の要請にもとづき「記念日登録確認書」を提出した.
 - 4) 中部支部 (大藤支部長) と応用地質学会

中部支部(吉田英一支部長)が相互の学術、技術の連携に関して7/25に正式に覚書を交わしたとの報告があった。

- 5) 新企画出版物について
土屋 健会員より新企画出版について説明があった。
- 6) 資源エネルギー庁より、放射性廃棄物の最終処分に関する「科学的特性マップ」公表についての連絡があった。 geo-Flashを通じて会員にも知らせることとした。
2. 運営財政部会: 総務委員会 (緒方・西) <共催・後援依頼, 他団体の募集等>
 - 1) 海底火山研究国際シンポジウム(国立科学博物館・地質学会共催)のプログラムが決定→HP, geo-flash, News誌に掲載
 - 2) 環境地質部会より、「水環境の恩恵と千葉県」(NPO日本地質汚染審査機構主催)を後援した旨報告があった。
 - 3) 朝日新聞社主催の第15回高校生科学技術チャレンジ(JSEC2017)の後援依頼を承諾した。
 - 4) 第18回子供のためのジオカーニバル企画委員会より(代表者 廣木義久, 11/4-5, 大阪市)の後援名義使用依頼を承諾した。
 - 5) 朝日新聞文化財団より朝日賞の推薦依頼(メ切8/25, 学会メ切8/10)→HP, geo-flash, News誌に掲載
 - 6) 沖縄協会より「第39回沖縄研究奨励賞」の公募(7/15-9/30, 学会メ切9/10)→HP, geo-flash, News 掲載
 - 7) 藤原ナチュラルヒストリー振興財団より, 学術研究助成の募集, 今年度は「地学・植物」, 1件当たり30~100万円, 研究期間2018/4/1から1年間, 応募メ切9/1→HP, geo-flash, News誌に掲載
 - 8) 東京大学海洋研究所より, 学術研究船「白鳳丸」の平成29年度実施の研究航海に参加して実施する小規模研究募集(期限9/9), および東北海洋生態系調査研究船新青丸共同利用の公募(期限9/9)→HP, geo-flashに掲載
 - 9) 会社役員変更の挨拶: 賛助会員石油資源開発㈱(会長渡辺修氏, 社長岡田秀一氏ほか)
 - 10) 山田科学財団新理事長(江尻宏泰氏), 東レ科学振興会新会長・専務理事(日覚昭廣氏・紙野憲三氏)挨拶状
 - 11) 学協会役員変更の挨拶: 土木学会(新会長大石久和氏ほか), 無機マテリアル学会会長(坂井悦郎氏ほか)
- <会員>
 1. 今月の入会者(43名)
正会員(14名): 三五大輔, 岩森暁如, 照沢秀司, 潮崎翔一, 花島裕樹, 甲斐謙二, 長田朋大, 今山武志, Toy Virginia, BOLD Uyanga, 佐藤琢哉, 池田潤, Czertowicz Thomas, 塩崎一郎
院割(24名): 鈴木敬介, 高橋啓太, 原田隆弘, 望月健太, 四坂駿弥, 鈴木和規, 駒井美

- 穂, 相崎翔太, 小川琴奈, 太田章裕, 佐藤光, 中澤文華, 藤田耕太郎, 今西祐貴, 松本廣直, 山本克志, 大木耀成, 本橋銀太, 梅田隆之介, 吉原 遥, 河原畑智朱, NDOSSY David, 松澤ひかり, 戸澤茉莉花
学部割(5名): 西島拓海, 吉田 宏, 三宅裕子, 寺田周平, 山本啓介
2. 今月の退会者・逝去者 なし
3. 2017年6月末日会員数
賛助: 28, 名誉: 57, 正会員: 3615(正会員: 3450, 正(院割)会員: 157, 正(学部割)会員: 8) 合計 3700(昨年比 -22)
<会計>
 - ・昨年輸入したGeology of Japanの輸入消費税について, UKの運送会社との間で多少問題が生じている。現在, Wallis会員が窓口となって折衝中であるが, 日本国内の消費税なので結果としてこちらが支払うことも, やむを得ないと思われる。
3. 広報部会: 広報委員会(坂口・小宮・内藤)
4. 学術研究部会(岡田・山田)
 - (1) 行事委員会(岡田)
 - 1) 愛媛大会発表申込数553件(口頭321, ポスター232)(例年並みに達している)。中高生の発表22件, プレスリリースの希望数件
 - 2) LOCからCPDが申請できることを案内するように要請する。
 - 3) 地球惑星連合のプログラム委員として, 岡田誠, 板木拓也の両会員を推薦した。
 - (2) 国際交流委員会(井龍)
 - ・大韓地質学会70周年への訪問者(会長が井龍理事と協議する)
 - (3) JIS, 標準担当(中澤:代斎藤)
 - (4) その他
5. 編集出版部会(中澤・田村・小宮)
 - (1) 地質学雑誌編集委員会(山路編集委員長, 中澤担当)
 - 1) 編集状況報告(7月15日現在)
 - ・2017年投稿論文 64編[総説20(和文20)・論説23(和文23)・報告10(和文9, 英文1)・ノート1(和文1)・講座1(和文1)・口絵2(和文1, 英文1), 巡検案内7]
 - 査読中: 56, 受理済み: 25(うち特集号9)
 - ・123巻7月号: 愛媛大会巡検案内書(4編)+通常原稿2編 125ページ(7/31発送予定)
 - ・123巻8月号: 愛媛大会巡検案内書(3 or 4編)+通常原稿2 or 3編(入稿準備中)
 - ・123巻9月号: 125記念特集「日本の変成岩研究の進展と展望」+通常原稿
 - 2) オープンファイル(電子付録)のファイル形式について
pdf以外の形式も認める方向で検討中。
 - (2) アイランドアーク編集委員会(田村)
 - 1) 編集状況
 - ・Vol.26 Issue2(2017年3月): 一般原稿6編
 - ・Vol.26 Issue3(2017年5月): 井龍特集号5編(完結), 一般原稿3編
 - ・Vol.26 Issue 4(2017年7月): 特集号5編, 一般原稿4編

- ・Vol.26 Issue 5(2017年9月): 特集号5編, 一般原稿7編 予定
- 2) オンライン投稿の状況
- 3) IPが減少したことについて, 今後対応策を検討していく。
- (3) 企画出版委員会(小宮)
 - ・伊豆大島・三原山探検マップの再投稿原稿について, リーフレット企画出版委員会の高清水委員長より査読結果が報告され, 修正を著者らに要請することにした。現在, 小宮理事不在のため確認が取れていないが, このまま著者らに返信してもよいか。
 - ・ゆめ基金による教材開発の助成金の概算払い(600万円)を請求した。
6. 社会貢献部会(平田・杉田・廣木・辻森)
 - ・街中ジオ散歩(2018/5/13神奈川県川崎市生田付近で実施の予定)の準備進捗状況報告
7. ジオパーク支援委員会(平田)とくになし
8. 地学オリンピック支援委員会(平田)とくになし
9. 地質災害委員会(松田達生)とくになし
10. 地質技術者教育委員会(山本)とくになし
11. 125周年記念事業実行委員会(緒方, 渡部)
 - ・7/7委員会開催。記念講演, 125年の歴史, 記念表彰(10団体, 個人)等について検討している。
12. 県の石支援委員会(辻森)
 - ・県の石出版プロジェクト
文一総合出版と井龍委員長の具体的な出版についての話し合いが行われ, タイトル, レイアウト, 図の著作権, 契約書等の検討を行った。

2017年9月29日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長(代表理事) 渡部芳夫
署名人 執行理事 斎藤 眞